

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月06日

計画の名称	新潟駅周辺地区の賑わいと活力を創出する交通環境整備（第2期）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	新潟市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道で分断されている新潟駅周辺地区の南北市街地の一体的利用を促進する ・新潟駅周辺地区の賑わいの創出を図るため、移動しやすい交通体系を構築する ・交通環境の充実により交通の円滑化を図り、交流・連携を強化する 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,665	A	4,665	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	・新潟駅前地区（流作場五差路交差点）から新潟駅南地区（新潟駅南口交差点）を自転車で移動する際の移動時間を7分31秒から5分29秒に短縮 新潟駅前地区（流作場五差路交差点）から新潟駅南地区（新潟駅南口交差点）までの移動距離をもとに、自転車で移動した場合の移動時間を算出	451秒	秒	329秒
2	・新潟駅周辺の駐輪場の内、雨ざらしの駐輪台数の割合を76%から10%に減少 新潟駅周辺の駐輪場の内、屋根等が設置されておらず雨ざらしになっている駐輪台数の割合を算出	76%	%	10%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	新潟市	直接	新潟市	S街路	改築	(都) 新潟駅西線	道路新設 (0.4km)	新潟市	■	■	■	■	■	1,113	—	
	A01-002	街路	一般	新潟市	直接	新潟市	S街路	改築	(都) 出来島上木戸線	現道拡幅 (1.2km)	新潟市	■	■	■	■	■	1,752	—	
	A01-003	道路	一般	新潟市	直接	新潟市	市町村 道	交安	新潟駅東線	歩道整備 (0.1km)	新潟市	■	■	■	■	■	1,200	—	
	A01-004	道路	一般	新潟市	直接	新潟市	市町村 道	交安	高架下駐輪場	駐輪場整備 (約1,800㎡)	新潟市		■	■	■	■	600	—	
											小計						4,665		
											合計						4,665		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
新潟市大規模建設事業評価委員会において、当該社会資本総合整備計画の事後評価を行う。	令和6年度
	公表の方法 新潟市のホームページによる

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画期間内において事業が着実に推進し、新潟駅東線の供用開始によって南北市街地の連続性の向上や、新潟駅へのアクセス機能向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	新潟駅東線の整備により、鉄道高架下を横断する自転車・歩行者道路として南北市街地の連続性の向上や、新潟駅へのアクセス機能向上が図られた。また、歩行者と自転車の通行帯の分離によって、利用者の安全で快適な移動空間の確保が図られた。

○特記事項（今後の方針等）

新潟駅を拠点とした賑わいの創出を図り、南北市街地の一体化を促進するため、交通環境の充実を図り交流・連携を強化する。要素事業のうち、新潟駅西線、出来島上木戸線、高架下駐輪場は他事業で継続する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	451	
	最終目標値	329秒
	最終実績値	329秒
2	10	
	最終目標値	10%
	最終実績値	76%

参考図面

